

## 震災の教訓を忘れない！ 「防災意識高揚月間2014」を実施します

区教育委員会では、東日本大震災から3年目となることを機に、震災の教訓を忘れず、学校の取り組みから地域の防災意識を高めようと、1月～3月までの間、「防災意識高揚月間2014」を実施します。

この間、全区立小中学校・養護学校・子供園では、学校、保護者、地域が連携し、被災地での救援・復興活動の従事者による講話などを実施することで、幼児・児童・生徒が命の尊さや助け合いの心を学び、地域全体で防災意識を高めていきます。

区教育委員会では、中学生の防災等に関わるボランティア活動として、平成17年度から各中学校に「中学生レスキュー隊」を設置したり、時間を告知せずに行う避難訓練を実施するなど、これまで児童生徒への防災教育に力を注いできました。また、学校は、災害等が起こった際には、避難所になるなど、地域の防災拠点でもあるため、日頃から保護者や地域と連携・協力関係を築くことが重要です。

そこで、東日本大震災から3年目となることを機に、区教育委員会では、震災の教訓を忘れず、学校の取り組みから地域の防災意識の高揚を図ろうと、1月から3月までの間、「防災意識高揚月間2014」を実施します。

この間、区立小中学校(65校)、養護学校(1校)、子供園(6園)では、学校、保護者、地域が協力し、被災地で救援・復興活動に従事した警察署や消防署、自衛隊等の職員による講演会を実施します。また、小中学校の授業では、区と災害時相互援助協定を結んでいる福島県南相馬市など、被災地の方からお話を伺う機会などを設けます。

区教育委員会では、こうした体験者の生の声を聞くことで、首都直下地震に備え、保護者や地域との協力体制の強化を図りながら、子どもたちが自らの命を守ることができるよう、命の大切さや助け合いの心を学び、地域全体で防災意識を高めていきます。

明日、17日は、阪神淡路大震災から19年目を迎えます。

前日の今日、杉並区立第四小学校(住所：高円寺北2-14-13、校長：佐藤広明)では、1～6年生までの児童257名に向け、東日本大震災の被災地で救援・復興活動に従事した警察署職員の講演会が、地域住民も交えて行われました。子どもたちは皆熱心な表情で話を聞き、地震が起こったらどうするかなど、警察署職員の問いかけにも積極的に手を挙げ、答えていました。地域住民の一人は「皆で体験談などを聞く機会があるのはいいと思います。子どもたちが家に持ち帰り、家庭の中でも考えてもらえれば」と話していました。



### 【問い合わせ先】

区立済美教育センター TEL:3311-0021  
総務部広報課 TEL:3312-2111(代表)